

21, 2007 00:12

質問事項 安全安心対策について

（交通安全施設等の整備について）

答弁要旨

交通安全施設等の整備についてでございますが、本市の交通安全計画の基本的考え方に基づき、「人優先」の交通安全思想のもと、交通事故のない社会を目指し、市民の安全と安心を確保するため、重点的に対応してきているところでございます。

街灯の整備につきましては、児童生徒の安全確保のための通園通学路や、公共公益施設周辺の道路を優先して、街灯の照度アップや増設を行ってきたところでございます。

交通安全施設の整備につきましては、バリアフリーの観点も含め、歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、歩道整備や交差点改良などを実施しております。

過去五カ年における交通安全施設整備に要した費用は、年間 20 億円程度で推移してきましたが、今年度策定した「総合道路整備計画」の中で平成 18 年度以降、従来以上に拡充、重点化して取り組むことといたしており、今後とも、市民が安全安心に暮らすことができる地域社会を実現するため、交通安全施設の整備に鋭意取り組んでまいり所存でございます。

質問事項 安全安心対策について

（自動体外式除細動器（AED）の設置促進について）

答弁要旨

私からは、AED の設置促進についてのご質問についてお答えいたします。

本市では、各局・区の判断に基づき、多数の市民が利用する施設を中心に、AED の整備に取り組んでおり、その重要性から、一定の予算措置が講じられ、これまで順調に整備が進んできたものと認識しております。

AED の設置対象施設を明確にし、予算措置を含めた全体計画を策定して取り組むべきことのご指摘につきましては、全庁的な調整が必要でありますことから、AED 設置に係る各局・区の考え方などを踏まえ、今後の取り組みのあり方について関係部局と連携して検討してまいりたいと考えております。

また、小児用 AED パッドの導入につきましては、既に各局・区にその必要性について情報提供したところでございますが、施設の利用実態等を考慮しながら併せて検討してまいりたいと考えております。

質問事項 頑張る地方応援プログラムについて

答弁要旨

頑張る地方応援プログラムについてのご質問にお答えいたします。頑張る地方応援プログラムは、やる気のある地方が自由に独自の施策を展開することにより「魅力ある地方」に生まれ変わるよう、平成 19 年度に総務省が打ち出した新しい事業であり、地方交付税等の支援措置を講じるというものでございます。

本市といたしましては、複数の事業がこの応援プログラムに該当するのではないかと考えており、財源確保という観点からも、積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

質問事項 貞山堀について

答弁要旨

貞山堀についてのお尋ねでございますが、ご指摘のように、貞山運河は藩政時代から明治にかけての遠大な土木工事の面影を残す歴史的遺産であり、兩岸に連なる松林と水面とが見事に調和した独特の水辺景観を形成しております。

このようなことから海岸公園整備計画では、この貴重な貞山運河を有効に活用できるよう事業を進めており、その中で拠点地区のひとつである荒浜地区においては、貞山運河の豊かな自然環境と歴史的資産を保全し、市民の皆様がカヌーやボート遊び等に利用できるような魅力ある親水空間の整備に努めてまいりたいと存じます。

質問事項 道の駅設置について

答弁要旨

「道の駅」設置に関するご質問でございますが、まず、国道48号作並地区の道路線形改良事業につきましては、沿線自治体で構成する「国道48号道路改良整備促進協議会」において、国土交通省に要望を行ってまいりました結果、平成19年度より用地買収に着手する予定と伺っております。

また、ご案内のように「道の駅」の設置にあたりましては、休憩施設や情報発信施設については道路管理者が整備し、併設する地域振興施設については地元の自治体や第三セクター等が整備を行い、「道の駅」全体の管理運営は地域振興施設の設置者が行うというものでございます。

ご提案の「相生橋」付近の設置につきましては、道路管理者であります国土交通省との協議はもとより、地域の方々の振興意欲や熱意の高まりと、それを継続する力が何よりも重要かと存じます。

質問事項 団塊世代へのPRについて

答弁要旨

団塊世代への本市のPRについてのご質問でございます。人口減少や経済の停滞など、地域社会が大きな変化を続ける今日、国内の多くの自治体が、大都市圏に住む団塊世代層の地方への定住を推進するための取り組みを進めていることは私どもも十分承知をいたしております。

特に仙台につきましては様々な調査におきまして、常に、住みよいまち、住んでみたいまちのトップクラスにランキングされるということでございまして、今後、これら団塊世代の動向に十分注目しながら、更に様々なライフスタイルへの対応を含めまして、どのような施策が効果的で適切であるのかという点も含めて、幅広く検討してまいりたいと考えております。

質問事項 JR 仙台駅の改札口について

答弁要旨

JR 仙台駅の東側の改札口設置についてのご質問にお答えいたします。

議員ご指摘のとおり、JR 仙台駅は東北の玄関口としての広域的な交通結節点であり、本市の創造と交流

の基点となる都心の街づくりにおいて、駅の東西が一体となって発展することが大変重要であると認識しております。また、駅東地区における土地区画整理事業による市街地整備の進展もあり、東側改札口のニーズは高まってきているものと考えております。このことは、単に改札口の課題だけではなく、駅舎整備の全体構想にかかわることですので、今後とも、JR 東日本との協議において積極的に働きかけてまいりたいと考えております。

質問事項 施政方針について（市長答弁）

答弁要旨

施政方針における歳入対策に関するお尋ねでございます。私も議員ご指摘のように、仙台市の将来の発展のため、あるいは現在の市民生活の向上のため何よりも歳入の向上を図ることが極めて重要な視点であるという基本認識を持っております。

問題はこれを如何にして実現をしていくか、ということに掛かっているわけですが、常日頃申し上げておりますように、税収あるいは仙台市の歳入を増やしていくために、市民の皆様の懐、そして企業の収益が上がることで、広く仙台市の経済・産業、中小企業の活力がもっともっと高まって、そのことにより個人も事業者も収入・収益が増える、こういったプラスのメカニズムといったものを作っていくかなければならないわけですが、そのためにやらなければならないことは沢山あるわけですが、まず今回ビジョンでお示したように、仙台市のビジョンをどのような視点からとらえるか、経済にしても人材にしても、情報などにしても、交流を活性化していくこと、そして自然界でも人間同士でも社会現象においても、いろいろな交流が刺激し合い、そこから新しい価値が生まれる、これは人類の歴史的な経験則からも全体として正しい視点だと思いますが、そういった交流による活性化によって、また新しい価値が創造されるというコンセプトでございます。

しかし抽象論だけではいけないわけでありまして、そのためにも都市ビジョンにおいて基本的な施策の方向性を示し、あるいは具体的な施策も今回の施政方針で提示をしておるつもりでございまして、決して場当たりのやることを羅列したわけではございません。そして各論段階で申し上げれば切りがないわけですが、やはり一つには19年度において東西線の整備など、将来に向けた投資、とりわけこの場合東西軸という仙台においてこれまで弱かった交通軸の整備、仙台の市域のバランスある発展に必要な不可欠である、その東西線の投資を、しかも環境負荷を低くするための投資をタイムリーに加速的に進めていくことが重要であると考えております。

そして常日頃申し上げておりますとおり、仙台には大学を始めとする沢山の優れた研究の集積、人材が集まっている。そして若者も沢山住んでおり、近隣の自治体からも沢山の若者が週末集まる、そういった仙台が本来持っている活力、可能性をできるだけ引き出して、そこから先程申し上げたようなプラスの循環を作り出していくこと、それは複雑系の循環になっており因果関係が必ずしも明確ではありませんけれども、一つ一つの各分野において、インフラの整備なり、商店街の活性化なり、デスティネーションキャンペーンに象徴されるような誘客などを、一つ一つを地道に精力的に進めていく、それによって初めて都市全体の活力が高まり、雇用が確保され、個人の収入が増え、事業所の収益が上がる、そしてそこにまた人も物もお金も情報も集まってくる、こういうモデルを作り出したいと考えております。